

Campus Today



6年生が第116回歯科医師国家試験に臨む



歯科医師国家試験の出発式で合格に向けてときの声を上げる6年生

出発式で教職員が激励めざせ全員合格

第116回歯科医師国家試験が1月28日(土)、29日(日)の2日間の日程で、東京、大阪など全国8都道府県で一斉に行われた。本学の第6学年生58人は東京会場で受験し、これまで蓄積した力を出し尽くした。「人事を尽くして天命を待つ」の心境で3月16日(木)の合格発表を待つ。

学生たちは1月26日(木)午後、本学本部館ロビーに集合。第6学年主任の小児歯科学講座・大須賀直人教授ら教員5人の引率で、貸し切りバス2台に分乗し、試験会場のある東京に向かった。

出発に先立ち、本部館ロビーでは恒例の出発式が行われた。教職員が多数見守る中、宇田川信之歯学部長は「平常心で臨み、実力を発揮してください。」と激励した。学生たちは宇田川歯学部長の「合格！」の掛け声が続いて、と

されながら試験準備に取り組んできた。出発式を前にして、学年委員や有志の8人は、学内の諏訪社・稲荷社に参拝し、合格を祈願した。学年委員会副委員長の石川幸佑君は「学年一丸となつてずつと頑張ってきた。強い気持ちで試験に臨み全員合格を果たしたい」と、決意を新たにしていた。



2台のバスに分乗して東京に向かう学生たち

試験前日の27日(金)、多くの学生は引率の教員と一緒に、宿泊先のザ・プリンスパークタワー東京(港区芝公園)から貸し切りバスに乗り、30分ほど離れた場所にある試験会場、東京工科大学蒲田キャンパス(大田区西蒲田)を下見して現地の状況を確認、緊張をほぐした。一方、宿泊先に残り

り、教員のサポートを受けながら自分の弱点を最終確認する学生の姿もあった。試験初日の28日(土)は出発前の朝食会場に宇田川歯学部長が駆け付け、学生たちを励まし

幸せをつかみ 周囲にも幸せをもたらせ 歯学部・大学院 卒業証書並びに学位記授与式

歯科医師国家試験の受験を終えた翌30日(月)には、2022年度松本歯科大学卒業証書授与と学位記の授与式が本部館7階講堂で挙行された。

黒の角帽にガウンをまとった歯学部卒業生58人と大学院歯学独立研究科の修了生(博士学位取得者)4人が出席。厳かな雰囲気の中、列席した保護者や法人役員、教員らが門出を祝福した。

式は校歌「あ、渺々の蒼穹に」の斉唱で始まった。挨拶に立った矢ヶ崎 雅理理事長は「卒業おめでとう。皆さんは本学にとって、世界一の歯科医師、研究者を目指してください。そのためにはこれから先も常に学んで、最新の技術を身に付け、自信を持つことです。そして、自分の幸せをつかみ取り、周囲をも幸せにできるよう励んでください」と

激励した。さらに「今春、東京・銀座に本学のクリニックを開設し、さらに全国的にも展開していきたくて考えていますが、皆さんと手を携えてその夢を実現させ、兄弟姉妹として大学をいっそう飛躍させましょう」と展望を語り、新しい世界に羽ばたく卒業生たちの前途を祝福した。



卒業生を代表してお礼の言葉を述べる長尾君

た。その後、学生たちは貸し切りバスで試験会場へ向かった。学生たちは2日間にわたり、これまでの勉強の成果を全力で発揮した。試験終了後は、貸し切りバスで試験会場から直接本学に戻り、新型コロナウイルス検査をしたあと、疲れをおして自己採点を済ませた。

試験の結果は3月16日(木)午後2時、厚生労働省のホームページ上で発表される。ひそかに神社に詣で、自分たちの合格を祈願してくれたことが忘れられず、自分たちも奉納を始めた。「後輩たちが国家試験に合格し、立派な歯科医師になれるようお願いを込めました」と話している。

教員も絵馬で合格祈願 本学の教員も学生たちの国家試験合格を切望している。本学卒業生で歯科保存学講座の二人の助教は、2019年から出張先の太宰府天満宮や湯島天神などを訪れては絵馬を奉納、合格を祈願している。ここ数年は新型コロナウイルス感染症が流行中のため遠出を避け、昨年は諏訪大社、今年は松本市の深志神社に初詣の折に奉納した。



深志神社に奉納された絵馬

賞をはじめ、活動賞、皆勤賞など各賞の表彰が行われた。卒業生を代表して長尾将平君は、不安と期待を胸に入学し同じ目的を持つ友人たちと勉学に励んだ6年間を振り返り、「私

たちは「よき歯科医師となる前によき人間たれ」という本学の教育方針を胸に、心優しく良心と尊敬を持って医業に従事していきます」と決意を述べ、支え

政治家の実力を一目で見抜く裏技

内閣官房参事
松本歯科大学常務理事 飯島 勲
特命教授

今月号は『プレジデント』2月3日号「リーダーの掟 飯島勲」より、政治家の本当の実力を見分ける方法に
関する記事を要約して紹介します。

今回は新年ということで、読者には「政治家の実力を見分ける方法」をお伝えしたい。

まずチェックしたいのは、その国会議員が初当選のときから変わらぬ秘書がいるかどうか。永田町と地元の双方に、議員と同じだけのキャリアを持つ秘書がいる事務所は強い。

単純に、秘書が長続きしない事務所は、議員本人の資質に問題が多いこともあるが、政治家が公約として掲げる政策の実現には、地元と永田町の事務所の

知事査定を挟むことになる。

国会の予算審議の後、知事査定は4月から5月の連休明けの10億円の事業と算出された道路減額されるというケースも出てくる。そして、知事が本当に7億円で国に提出してしまふと、当然ながら道路はできなくなってしまう。これを満額のまま獲得するのが議員地元秘書の腕の見せ所になる。

夏から秋になり、状況によっては補正予算の手続も必要になる。補正予算は、原則として年度中に使い切らなければならぬが、秋に決まった補正予算が国から県を通じて市町村に下りてくるまでにはかなりの時間がかかり、3月末までに事業を終えるのは非常に厳しい。これを次年度に繰り越すには煩雑な手続きが必要で、実際に担当する各府省庁の課長補佐や係長クラ



補正予算の国会審議

スの官僚と意思疎通ができていないとうまくいかない。どの政党の議員秘書でも、各府省庁の局長クラスなら顔と名前が一致するだろうが、課長補佐、係長まで知っているなら、デキる秘書だと言つてよいだろう。

さすがに一般の有権者が事務所の秘書と官僚の係名まで調べるのは難しいが、簡単にその議員を含めたチームが能力を持っているか、判断する方法がある。それは選挙公約だ。与野党を

問わず、多くの政治家が公約に掲げるのが教育・福祉・医療の3つだ。「私は子どもたちのために頑張る」とか「医療と福祉を手厚く」くらいのことは誰でも言えるし、有権者にもアピールしやすい。具体的な目標が入っていないので、何も実現できなくても公約違反にはならない。こういうことしか言わない政治家は、「大して働いてくれないのでは」と疑つてもよい。

「〇〇町と〇〇町をつなぐ曲がりくねった道路をまっすぐにし、渋滞を解消します」「〇〇町に、△人くらいが集まることのできる公園をつくりまします」といった具体的な内容で、国の予算を獲得しないとできないような公約が入つていれば、かなり自信を持って仕事に取り組んでいけるし、日頃から算段をつけて仕事をしている人物だと評価し

ていいと思う。私のふるさとである長野県伊那市は、国と地方自治体の予算の仕組みを調べつくして、山間の小さな町を最新のスマートシティに改革した。更地に新しい建物をつくることだけがスマートシティではない。のどかな山村の景色を変えないまま、最新のデジタル設備を導入して、住民の生活の利便性を向上させた。政治家と行政がうまく連携したからこそ成果だと思つて、「代議士」という文字をあらためて見ると、国民に代わって議論する士(さむらい)という素晴らしい称号である。だから国民も、その称号にふさわしい人物をきちんと選ぶべきだ。マスコミの報道に流されて、雰囲気だけで政治家を選んでしまふのは残念である。23年の大きな政治の動きとしては、4月の統一地方選挙がある。まず、身近な地域をよく観察して、政治家を評価する力を養つてもらいたい。

歯学部3年・野口 宝さんが ポスター発表で優秀発表賞 第94回松本歯科大学学会(例会)



優秀発表賞を受賞した野口さんと指導教員の十川教授

第94回松本歯科大学学会の例会が12月1日(木)に開催された。歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士および歯学部学生より演題申込があり、ポスター発表形式で21演題が発表された。コロナ感染対策を鑑みて、限定された時間内での自由討論とし、発表者はポスターの前で質疑応答に対応する形式とした。

第94回の学会でも学会の発展と向上を目的に優秀発表賞、特別賞を受賞した。

野口さんの発表は、扁平上皮特異的アインソフォームであるMTAと癌抑制タンパク質p53および癌細胞増殖の関連を明らかにすることを目的に、p53によるMTA遺伝子発現誘導とMTA遺伝子導入後の癌細胞増殖、亜鉛トランスポーター遺伝子の発現変化について検討している。その結果、p53によりMTA遺伝子発現が誘導されること、およびMTA遺伝子導入によりCa²⁺細胞増殖は抑制されるとともに、MTA遺伝子導入細胞では、ZfP6、ZfP9、ZfT5のmRNA発現が低下していることが報告された。

これらの結果を踏まえ、MTAはp53により発現誘導され、亜鉛トランスポーターの発現を調節することにより、癌細胞増殖を抑制する可能性がある」と結論づけている。

東海大諏訪高生が本学で実地研修

大学進学やキャリア形成の意識高める

高大連携教育の一環として12月2日(金)、東海大学付属諏訪高校理科特進部の1年生22人が本学を訪れ、特別講義を受講し、キャンパスを見学した。

特別講義は、宇田川信之歯学部長が「多様化する歯科医療の役割」と題して、むし歯の治療のほか、歯周病と全身疾患との関係、摂食嚥下やスポーツ歯科についてなど、多岐にわたる歯科医師の仕事の重要性を説明した。また、大学院歯学独立研究科の平岡博研究科長が「タバコは吸うな! 露出着はやめろ! : お口の健康と酸素の話」と題して、タバコや紫外線の体への悪影響や、昆虫の寿命と活性酸素の働きについて詳述した。



先輩たちに話をする本学教員と学生

キャンパス見学では、図書館を自由に見てもらう時間を設け、生徒たちは歯科関係の書物の膨大な量や自習室に圧倒されていた。そのほか、病院、学食、学生ラウンジ、講義館、総合歯科医学研究所を見て廻った。実習館216教室では、スポーツ生理学の授業の一コマを見学している。

第95回学会(総会)は7月6日(木)に開催予定ですので、皆様の参加をお待ちしています。(集客部長 大須賀直人)

創立者の「視点」



大学誌編集主任 特任教授 笠原 浩

全日本民主機関連合会(民医連)をご存知だろうか。2020年現在で病院142、診療所489、歯科診療所80、その他多くの施設と、8万人を超える職員を擁する日本最大規模の医療機関関係組織である。(Wikipediaから引用)

筆者は、本学に着任するまで約12年間、この組織の一員である財団法人代々木病院に在籍していたことがあり、その縁で今月に民医連歯科中部地方会での講演を依頼された。私がそこで勤務していた当時(1960年代)の歯科医療の実態などをお話して、時代の変遷を考えてみたいと思つている。

この年代は「もはや戦後ではない」と高度経済発展を謳歌した時代だったが、その反面で労働災害・職業病・公害・交通災害などの多発で健康破壊や環境破壊が進行していた。国民の不安・不満に対して1961年4月には「国民皆保険」制度が発足したが、これは無制限の差額徴収を認める混合診療で「良い治療はお金が必要」が当たり前になっていた。そうした医療状況の中で「われわれは働く人びとの医療機関である」と綱領を掲げ、「だれでも受け入れる」「差額徴収はしない」「民医連の病院・診療所が歓迎され、発展を続けていくところは当然である。」「悪苦闘争についてはお話しする予定である。」

60年前の歯科医療

この時代には保険診療だけでは歯科医院の経営は全く成り立たない。これは、支払い側も不採算となる部分についてはやむを得ないと「差額徴収」を公認した理由なのである。したがって「差額徴収はしない」民医連歯科は必然的に赤字となってしまう。ただでさえ経営的に苦しい民医連の院所が歯科の設置に消極的となつてしまつてきたのかもしれない。

病院だより vol.47

口腔の検査：唾液検査①

唾液による 歯周病細菌 PCR 検査

いまだ収束の気配をみせない新型コロナウイルス感染症ですが、この検査として無症状者や発症初期を疑う者を対象とした唾液を用いたウイルスのPCR (Polymerase Chain Reaction) 検査の光景は、今や広く周知され、世界中で多くの人が実施するところとなりました。

唾液の中には歯周病原菌の遺伝子情報が含まれており、唾液のPCR検査を行うことで歯周病原菌の割合や歯周病の重症度を把握することができるようになりました。

主な歯周病の原因菌は、Porphyromonas gingivalis (P.g菌)・Prevotella intermedia (P.i菌)・Tannerella forsythia (T.f菌)・Treponeema denticola (T.d菌) および Aggregatibacter actinomycetemcomitans (A.a菌) の5菌種が考えられています。

Table with PCR test results for various bacteria. Columns include '検査項目名' (Test Item Name), '検査結果 (copies/mL)' (Test Result), and '基準 (検出限界値/検出率)' (Reference). Rows list P.g, P.i, T.f, A.a, and Aggregatibacter.

矯正治療を予定している患者さんが現在のご自身の口腔の環境、特に歯周病菌の状況把握し、本格的な治療の開始前に必要に応じて歯周病の治療や対策をとることで、インプラント治療や歯科矯正治療の後に歯周病による不具合が生じるリスクを回避することができます。

松本歯科大学病院でも唾液を調べて、患者さんそれぞれのお口の環境を診断し、治療に活用しています。唾液検査に関するお問い合わせは、病理検査室(☎0263・51・2093)、臨床検査室(☎0263・51・2118)までご連絡ください。

より安全な医療提供に努めるようお願いします。責任者の田口明教授に診療放射線に係る安全管理のための講習を行っていただいた。日本では患者一人当たりの年間画像診断被ばく線量が世界各国と比べて高い。歯科におけるエックス線撮影による被ばく線量は、医用CTと比べると極めて低い傾向であった。影響度「0」(誤った医療行為などが患者に実施するまでに発見されたもの)についておまじせ積極的にヒヤリハット報告を提出していただき、



田口教授による放射線に係る講習

R検査ではP.g菌の線毛タンパクの一つであるフィブリリンの遺伝子FimAの分布に注目することで、重症型の歯周病の鑑別が可能です。

さらに当院では、難治性の歯周病の患者さん以外にも、口腔インプラント治療や歯科矯正治療を予定されている患者さんの検査としても多く利用されています。

矯正治療を予定している患者さんが現在のご自身の口腔の環境、特に歯周病菌の状況把握し、本格的な治療の開始前に必要に応じて歯周病の治療や対策をとることで、インプラント治療や歯科矯正治療の後に歯周病による不具合が生じるリスクを回避することができます。

このような時勢を背景とし、唾液検査は血液検査、尿検査と同様に全身疾患の予防や診断あるいは更に精度の高い歯科治療を行うために重要な検査と位置づけられています。

12月19日(月)に2022年度第2回医療安全講習会を開催した。2021年度に発生した医療事故・ヒヤリハット事例につき、集計結果の概要を筆者が報告した。1年間の報告数としてはこれまでで最も多く、特にヒヤリハット報告が増加している。患者への影響度分類で見ると、影響度「1」と「2」が増加していたが、「0」は減少傾向であった。影響度「0」(誤った医療行為などが患者に実施するまでに発見されたもの)についておまじせ積極的にヒヤリハット報告を提出していただき、

療の「正当化」、医療被ばくの防護の「最適化」、インシデント発生時の対応、放射線診療を受ける者への情報提供の5項目につき講演され、放射線被ばくについての知識をリフレッシュできた。今後とも、適切な診療用放射線の活用役立てていただきたい。

「干し羊のバター焼きサンド」 努力賞 松澤寿弥 「カムのがめめらねい、うまみあふれる和風ピザ」 小澤遼太 「中華らげと山菜のコリヤキ丼」 A・K 「大学ママ」 小口裕子 「香る/カリコリしっとりホイール蒸し」 上村久美 「イカしたセロリ」

第9回 カムカムメニュー写真コンテスト 最優秀賞は「もっちりごぼうとエリンギのハニーマスタード風」



炒めたごぼうとキノコの組み合わせで噛み応えを演出したメニュー

「よく噛んでおいしく健康に」をテーマに噛み応えのあるカムカム(噛む噛む)メニューのレシピを募る、第9回松本歯科大学「カムカムメニュー写真コンテスト」の表彰式が12月10日(土)、本学北棟ラウンジで催された。会場には全応募42作品が展示され、審査の結果、小泉聡さん(塩尻市・元エンジニア)の「もっちりごぼうとエリンギのハニーマスタード風」が最優秀賞に選ばれた。

同コンテストは、2014年から毎年開催されていて、9回目を迎えた今回は県内外の10、60歳代から作品が寄せられた。最優秀賞に選ばれた小泉さんのメニューは、ごぼうに片栗粉をまぶして炒めることで歯ごたえが増し、ニンニク、しょうゆ、蜂蜜、粒マスタードを使った味付けや、厚めに切ったエリンギやシイタケのキノコ類との食感も絶妙である点が評価された。

小泉さんは、かねてから料理に興味をもち、約30年続けたエンジニアの仕事を目指して修業中だという。「長女に勧められて初めて応募しました。美味しさを第一に身近な食材を使うことを考えました。この受賞を機に、

創意工夫したメニューを考えていきたい」と感想を語った。審査にあたったホテルシェフ、リゾート白馬の金澤久光総料理長は、「コンテストの回を重ねるごとに、応募者の方々のアイデアに感心させられることが多く、写真のクオリティもアップしてきて、選考に悩みました。最優秀賞に輝いたレシピは、シンプルながらも、キノコの種類の食感のハーモニーで自然と噛む意識が生まれ、ごぼうに片栗粉をまぶしたアイデアも高評価になりました。今回は10回目を

過去の入賞者がメニューの秘訣を語る 「公開カムカムチャレンジ」座談会



入賞経験者3人が集った座談会

美さん(管理栄養士)、下田郁子さん(調理師)、藤升泉さん(歯科衛生士)が、受賞作品を振り返りながら、カムカムメニューへの思い、レシピのヒント、「公開カムカムチャレンジ」座談会が催された。

総合歯科医学研究所の増田裕次教授が司会を担当し、平林直



川原学長から祝福を受けた最優秀賞の小泉さん(左)

迎えますので、より多くの応募を期待しています」と総評した。表彰式後は学生食堂において、入賞作品の中から数点のメニューを再現した試食会も行われた。金澤総料理長が腕を振るった「切り干し大根のオレンジ煮」「鴨肉の燻製」などのカムカムメニューも供され、参加者は噛むことを意識しながら味わっていた。

- ◎最優秀賞 小泉 聡 「もっちりごぼうとエリンギのハニーマスタード風」
◎優秀賞 西村 恵子 「柿と赤おろしとモロヘニのバリバリ秋サラダ」
◎松本歯科大学賞 下田 郁子・あかり 「根菜カムカム丼」
◎審査員特別賞A セロリさん 「おこげもおいしい！チキンピリヤニ」

- ◎審査員特別賞B 林 真理 「白ヒラタケのマリネサラダと紫もも」
張 璐瑤 「中華風野菜炒め」
◎奨励賞 岩垂 洋子 「モンローとマリネとトマトのピスタチオ」
平林 明依 「彩り噛み応えロール」
◎金澤シエフ賞 藤升 泉 「イカしたセロリ」

- 「干し羊のバター焼きサンド」
◎努力賞 松澤 寿弥 「カムのがめめらねい、うまみあふれる和風ピザ」
小澤 遼太 「中華らげと山菜のコリヤキ丼」
A・K 「大学ママ」
小口 裕子 「香る/カリコリしっとりホイール蒸し」
上村 久美 「イカしたセロリ」

Alumni News

松本歯科大学校友会

岡山県支部

「オンライン資格確認導入について」 (株) 東和ハイシステム事業 白井講師が講演

令和3年10月20日から、医療機関や薬局の窓口で、マイナンバーカードを健康保険証として利用できるようになりました。これに伴い、会員の歯科医院でも受付で患者さんがマイナンバーカードを保険証代わりに使う

という場面が増えてくること予想されることから、オンライン資格確認とは何か、歯科医院と患者さんのメリット、開始までの手順についてこの度、校友会岡山県支部として学術講習会を開催しました。なお、開催にあたってコロナ感染対策の一環としてZOOM参加形式によるWebセミナーといたしました。

そもそもオンライン資格確認とは、主に「マイナンバーカード」によって、オンラインで保険資格情報を確認できることです。現在、受付で保険証を預かり情報入力をしていくものを、顔認証付きカードリーダーにマイナンバーカードを置いて、最新の保険資格情報



ZOOM参加形式によるWebセミナー

を自動で取り込めるようになります。
この資格確認導入にあたってのメリットは
1. 有効期限切れ等の資格過誤によるレポート返戻の減少
2. 受付業務の削減・人的ミスを減らす
3. 来院前の一括照会
4. 特定健診情報・薬剤情報の閲覧により、医師側は迅速に情報を収集でき、患者さんも同じような質問への回答の手間削減。
5. 限度額適用認定証等の連携などがあります。

また、オンライン資格確認をはじめににあつての必要な機器や財政補助、導入までの手続きステップについても細かな説明がありました。
厚労省は、導入促進に向けてシステム導入の「原則義務化」を提案し、将来的には保険証の原則廃止をめぐり方針を示していることから、今後に向けて会員の先生方の参考となったと思います。

NEW FACE

本年度に新しく職員の仲間入りをした本学病院の歯科衛生士さんを紹介します。



古屋 花桜さん
松本市出身

もともと人のお役に立っている事に就きたいと思っていまして。そして口腔内に対しても興味があったので歯科衛生士を目指しました。
歯科大病院での歯科診療はさまざま専門科に分かれて行われるので、働きながら専門的なことにもより触れやすいのではないかと思います。この職場を選びました。現在は口腔外科に勤務しています。
毎日忙しいですが、自分が関わらせていただいた患者さんのブラッシングが改善され、磨きの協力によるもので、カウンターには学生たちが長い列をつくり、焼き立てを受け取ると「肉厚」「元気が出る」などと話しながら、仲間とお話しそうに食べていた。
第5学年にはボン菓子やつき餅が振る舞われた。ボン菓子づくりは中庭で行い、大きな炸裂音とともに仕上がると半分

大学院セミナー

東大気海海洋研究所 横山祐典教授が講演 放射性炭素を使ったトレーサー

2022年12月20日(火)、



講演する横山教授

東京大学大気海洋研究所教授横山祐典先生をお迎えし、大学院セミナーを開催した。横山先生は、熊本市出身。オーストラリア国立大・地球科学研究所にて博士号(PhD)取得後、アメリカに渡り、カリフォルニア大学バークレー校宇宙科学研究所以、エネルギー省ローレンスリバモア国立研究所研究員を歴任し、2002年より東京大学にて教鞭をとられている。専門は地球化学・古気候学であり、放射性同位体を使って過去の気候変動を復元し、地球表層システムの理解を深める研究を行っている。分析に用いる試料は、サンゴ、深海の堆積物、樹木試料、南極の水、アンデス山脈の岩石等多岐にわたり、ほとんどの試料は自ら採取されている。また、

国連の気候変動に関する政府間パネルなど国際プロジェクトにも広く関わっている。
今回のセミナーにおいては、驚くべき地球の気候大変動の謎を解く鍵は炭素にあつたことを講演された。気候変動を支配する地球表層システムはいくつものサブシステムから成り立っており、それらの相互作用が、気候変動を含む表層環境変動として現れる。複雑な環境変動メカニズムを解くには、長期・短期の時間スケールでの観測と、地

球化学的・地球物理学的手法を用いた現象解析が重要なキーとなつてくることを強調された。そして、横山研究室に設置されている世界初の小型加速器を用いた放射性炭素(14C)を使用したトレーサー研究を、海水・大気・クジラの耳石・サンゴ・ご自身の家族の抜去乳歯などに応用した解析結果をわかりやすく説明され、聴衆を魅了する素晴らしい講演となった。また、この世界一の精度で放射線炭素を分析できる小型加速器を用いたトレーサー研究を歯の分析などの歯学研究に応用できないかについても討議された。
横山先生は、長野県立屋代高校のアカデミックサイエンス物理連携講座においても授業をなさり、若者に対する地球温暖化に関する科学啓発活動にも力を入れていく。今後、横山先生の地球気候変動に関する世界的研究が益々発展するように祈念したい。

共用試験や歯科医師国家試験に向けて寸暇を惜しんで勉強に打ち込む第4・6学年生を応援しようと、この冬も年末年始、蒼穹会による食を通じたさまざまな学生支援が行われた。
学生食堂ではステーキランチや年越しそば、餅や正月小皿など季節感のある料理が振る舞われ、学生たちを喜ばせた。
初回は12月27日(火)に行われ、第4学年に300グラムの上質で肉厚なステーキが振る舞われた。レストラン「雷鳥」

がんばれ、学生！ 蒼穹会が食支援 ステーキや餅など振舞う



好評のステーキランチに長蛇の列



学生がきねを振った餅つき

Matsumoto Dental University SNS Information

LINE

twitter

Instagram

facebook

の協力によるもので、カウンターには学生たちが長い列をつくり、焼き立てを受け取ると「肉厚」「元気が出る」などと話しながら、仲間とお話しそうに食べていた。
第5学年にはボン菓子やつき餅が振る舞われた。ボン菓子づくりは中庭で行い、大きな炸裂音とともに仕上がると半分

毎日忙しいですが、自分が関わらせていただいた患者さんのブラッシングが改善され、磨きの協力によるもので、カウンターには学生たちが長い列をつくり、焼き立てを受け取ると「肉厚」「元気が出る」などと話しながら、仲間とお話しそうに食べていた。
第5学年にはボン菓子やつき餅が振る舞われた。ボン菓子づくりは中庭で行い、大きな炸裂音とともに仕上がると半分



矢島 彩聖さん
伊那市出身

歯周病に悩んでいた身近な人が抜歯をすることなく、高度な専門治療を受けて回復していく様子を見た経験から、いまは歯科

2月行事予定

1日(水)・2日(木)
一般選抜(Ⅰ期)
共通テスト利用選抜(Ⅰ期)
留學生選抜(Ⅰ期)

27日(月)
総合型選抜(Ⅱ期)
一般選抜(Ⅱ期)
共通テスト利用選抜(Ⅱ期)
編入学選抜(Ⅱ期)
合格者発表

23日(木)
総合型選抜(Ⅱ期)
一般選抜(Ⅱ期)
共通テスト利用選抜(Ⅱ期)
編入学選抜(Ⅱ期)
合格者発表

22日(水)
共用試験 O S C E (第4学年)

18日(土)
共用試験 O S C E (第4学年)

16日(木)
進級試験 第5学年

14日(火)
進級試験 第5学年

14日(火)
進級試験 第2・3学年

18日(土)
共用試験 O S C E (第4学年)

22日(水)
共用試験 O S C E (第4学年)

23日(木)
大学院発表会

人事異動

【契約満了】 12月9日付
上條 紀子 (事務局長室長(派遣職員))

【採用】 1月1日付
上條 やす子 (法人総務 事務員(契約職員))
出野 美穂 (シブチ事務員(契約職員))

【昇任】 1月1日付
尾崎 友輝 (歯部科保健士(専任))
出分 菜々衣 (講師(歯部科保健士(専任)))
長内 秀 (講師(歯部科保健士(専任)))

【配置換】 1月1日付
黒木有紀子 (外務講師(専任) 契約職員)

受験生の皆さんへ

※総合型選抜(Ⅱ期)
※一般選抜(Ⅱ期)
※共通テスト利用選抜(Ⅱ期)
※編入学選抜(Ⅱ期)

●試験日
2月23日(木)

※総合型選抜・編入学選抜の試験場は本学です。
※共通テスト利用選抜は、個別試験はありません。

●出願期間
2月6日(月)～2月20日(月)

●試験場
本学・東京・大阪

■お問い合わせ■
HOT LINE 0263-54-3210
松本歯科大学 入試広報室
www.mdu.ac.jp